

那須マテリアル株式会社

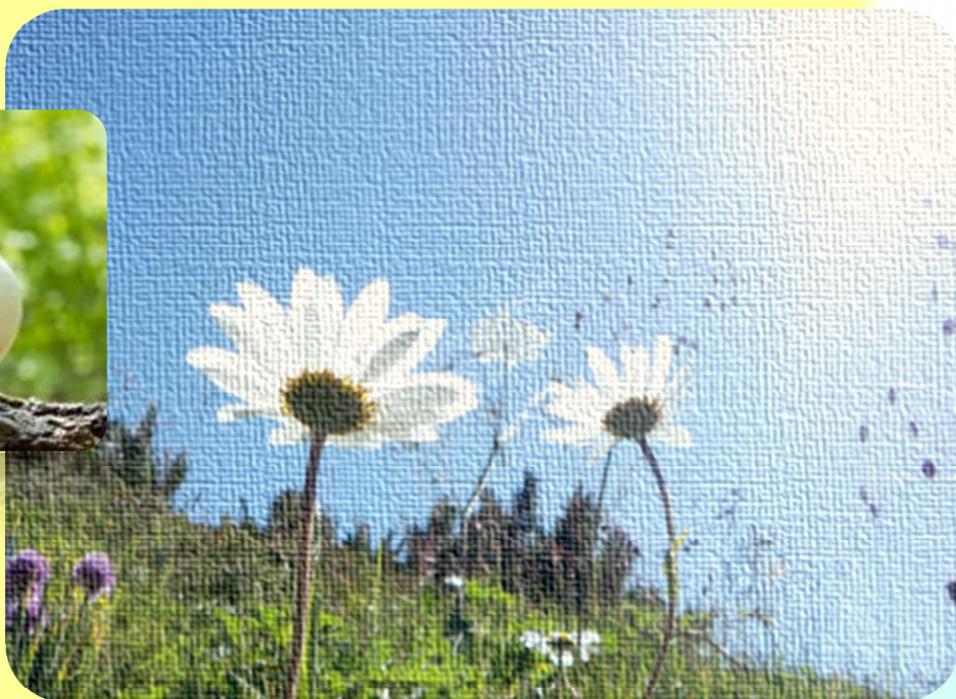
# 2016 環境報告書

NASU-MATERIAL Corporation environmental report



**NASU-MATERIAL**

<http://www.nasu-material.co.jp>



# 環境報告書の作成に当たって

この環境報告書は、当社における2015年 4月から2016年 3月までの環境に関する活動の成果を取りまとめ、「環境報告書2016」として公表するものです。

## ● 報告書対象組織

那須マテリアル株式会社

- ・ 本社工場 （栃木県大田原市）
- ・ 東北事業所（福島県西白河郡西郷村）

URL : <http://www.nasu-material.co.jp>

## ● 報告書対象期間

2015年 4月 1日 ～ 2016年 3月31日

（平成27年度）

## ● CONTENTS

1. 会社概要（グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧）	3
2. 工場施設及び設備の概要	4
3. 環境方針	5
4. EMSの取り組み-（1）	6
EMSの取り組み-（2）	7
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例	9
7. 地球温暖化対策の取り組み	10
8. 地域社会への取り組み	11
9. その他の環境活動	11

# 1. 会社概要

## 会社概要

社名	那須マテリアル株式会社	資本金	56,000,000円(平成28年3月現在)
創設年月日	平成 9年 9月 9日	役員	代表取締役 星 彰治
操業開始日	平成12年 4月 1日		取締役 星 豪紀
本社	栃木県大田原市北金丸2122		取締役 星 祐見子
東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5		監査役 高梨 友子

## グループ会社履歴

1997年 9月	那須マテリアル株式会社を設立	2009年 4月	那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事完了
2000年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 栃木県産業廃棄物処分業許可を取得	2010年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新
2002年11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得	7月	I S O 27001 更新審査合格
12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得	9月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
2003年 6月	星 彰治が代表取締役に就任する	11月	I S O 14001 更新審査合格
2004年 1月	那須マテリアル株式会社本社 I S O 14001の 認証を取得	2011年 9月	栃木県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合 認定(処分業・収集運搬業)
2005年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新	11月	群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。 群馬県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合 認定
2006年 4月	福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として 東北事業所を開設する	2012年 1月	福島県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合 認定
9月	一般労働者派遣業許可を取得	2012年 9月	テュフラインランドジャパン株式会社より、自社太陽光 発電モジュールの適合証明書及び、ライセンスが発行さ れる
10月	群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 東北事業所を追加登録	2013年 2月	太陽光発電設備(第一期)での売電を開始
2007年 8月	那須マテリアル株式会社本社・東北事業所 I S O 27001の認証を取得	4月	太陽光発電設備(第二期)での売電を開始
9月	秋田マテリアル株式会社を設立	12月	東北事業所にて太陽光発電事業の開始
10月	I S O 14001更新審査合格	2014年 11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新	2015年 11月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 茨城県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合 認定
12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新	2016年 2月	太陽光発電事業(低圧第四発電所)の開始
2008年 1月	エヌズホールディングス株式会社を設立	2016年 2月	太陽光発電事業(低圧第一発電所)の開始
5月	秋田マテリアル株式会社、秋田県産業廃棄物処分業 許可を取得		
12月	郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得		

## 環境関連グループ会社一覧

### エヌズホールディングス株式会社

本社 福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平 175-5  
TEL. 0248-48-0099  
大田原支店 栃木県大田原市北金丸2122  
TEL. 0287-20-2660

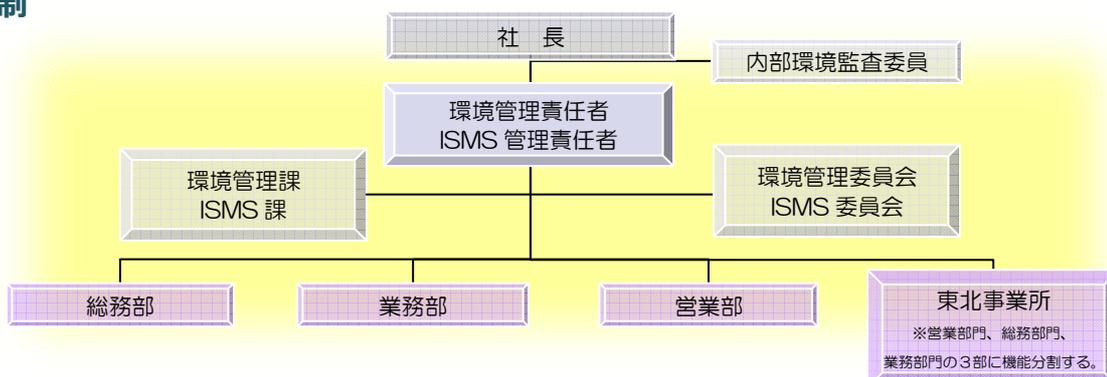


### 秋田マテリアル株式会社

秋田県にかほ市平沢字深谷地 16-8  
TEL. 0184-74-5277



## 組織体制



## 2. 工場施設及び設備の概要

### 本社工場

- 所在地 栃木県大田原市北金丸 2122  
敷地面積 33,510 m<sup>2</sup>  
業務内容
- OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル
  - シリコンスクラップの売買及びソーラーグレードシリコンインゴットの売買、太陽光を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の企画・提案、販売、太陽光発電機械器具の販売設置
  - 環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育
  - 建設資機材・環境機器のレンタル事業



本社事務所

### 保有設備（本社所有）

名称	数量	名称	数量
破碎機	1	ローリフト	1
粉碎機	1	トラックスケール	1
被覆電線処理装置	1	プリンター付デジタル計量器	1
発泡スチロール減容再生機	1	2tトラック	1
フォークリフト	2	4tトラック	2

### 保有設備（本社レンタル品）

名称	数量	名称	数量
3.8m 敷鉄板	150 枚	三脚付光波ブリズム	3
バックホウ油圧ショベル	2	自走式木材破碎機	1

### 東北事業所

- 所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5  
敷地面積 2,940 m<sup>2</sup>  
業務内容
- 鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル
  - シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、シリコンインゴットの売買
  - 太陽光を使用した発電業務、電力の販売



東北事業所

### 保有設備（東北事業所所有）

名称	数量	名称	数量
フォークリフト	2	プリンター付デジタル計量器	1
シリコン自動選別機	1		

### 3. 環境方針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生 of 「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また 2006 年 4 月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
  - (1) 太陽光発電業務における電力の供給
  - (2) 省資源・省エネルギーを推進し、環境負荷の低減に努めます。
  - (3) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
  - (4) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていく。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2015年 4月15日



那須マテリアル株式会社  
代表取締役 星 彰治

## 4. EMSの取り組み(1)

### 環境目的・目標一覧(全社分) 2015年度

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 12年度目	
				2015年(H.27)度 目標 期間:2015年4月 ~ 2016年3月	目標の使用量、 排出量等
I 省エネ 省資源対策	1.電力使用量の削減	全部門での照明・事務機器・業務部関連設備等の稼働に伴う電力の消費 「CO2削減」目標に置換え	本社 H18 実績 : 53,654kwh 東北 H24 実績 : 24,612kwh	■CO2 排出削減目標に置換える	
	2.水道水使用量の削減	東北事業所で使用している水道水の消費	H23 年度消費量 174 m <sup>3</sup>	■基準値比 4.0% 削減	167 m <sup>3</sup>
II 廃棄物等排出対策	1.車輛からの排気ガスの削減①	営業用自家用車使用に伴う排気ガスの排出	データなし	■CO2 排出削減目標に置きかえる	
	2.車輛からの排気ガスの削減②	業務に関わる車輛(トラック)使用に伴う排気ガスの排出	データなし	■CO2 排出削減目標に置きかえる	
	3.CO2の排出削減	電力及び軽油の使用に伴うCO2の排出	H26 年度実績値 : 44,064kgCO2	■基準値比 1.0% 削減	43,623kg Co2
III 施設設備 作業 関連の緊急時対策	1.業務用トラック関連の予防保全	待機中の騒音 油漏れ、騒音、荷物の落下、荷物の飛散、人身・物損事故	H.24~26 年度実績 : 左記緊急事態発生 0 件	■事故発生 0 件	
	2.収集運搬作業関連の予防保全	解体排出作業中の破損事故 トラック捕縛作業中の落下事故 トラックの過積載運送、運搬の荷物の落下事故	H.24~26 年度実績 : 左記緊急事態発生 2 件(接触・交通事故)	■事故発生 0 件	
IV その他環境に有益な項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18 年度実績値 : 本社再生品の実績値 (鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計)		H.26 年度実績: 1,708,998Kg	■基準値比 1.0%増加	1,726.088 kg
	2.会社周辺のクリーン活動		H26 年度実績 2 回	■目標実施回数	2 回
	3.社員による有価物類の回収		H25 年度回収実績 ペットボトル:172kg ダンボール: 1,247.7kg アルミ缶:106.2kg スチール缶:46.8kg	■目標:基準値比 1.0%増加 達成率 100%以上	ペットボトル: 173.7kg ダンボール: 1,260.1kg アルミ缶: 107.3kg スチール缶: 48.3kg
	4.太陽光発電事業によるCO2の削減		データなし	■実績値の集計を実施する。	
	5.ドライブレコーダー導入によるエコ運転管理		ドライブレコーダー システム診断得点 77 点以上	■目標:77 点以上 無事故7°の評価 77 点以上	
	6.新規アイテムのリサイクル業務		-	-	

「電力使用量の削減」については、今期より「CO2 排出削減」目標に置換えて、目標としました。  
 有益な項目については、今期も 6 件の項目を、社員ひとりひとりが意識して取り組みました。  
 また、省エネ・省資源対策の「作業資材の消費」については、影響評価の結果、除外と致しました。

## 4. EMSの取り組み- (2)

### 活動の目標と実績

環境目的		2015年度目標	2015年度実績	実績結果	2016年度目標
省 工 ネ ・ 省 資 源 対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力使用量の削減</li> <li>車両からの排気ガスの削減 (営業車)</li> <li>車両からの排気ガスの削減 (トラック)</li> <li>CO2の排出削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2：基準値比 1.0%削減 43,623 kg-CO2</li> </ul>	50,852kg-CO2	× 86% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2：基準値比 1.0%削減 43,623 kg-CO2</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道使用量の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道：基準値比 4.0%削減 167 m<sup>3</sup></li> </ul>	115m <sup>3</sup>	○ 145% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2：基準値比 1.0%削減 43,623 kg-CO3</li> </ul>
施 設 ・ 設 備 ・ 作 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務用トラック関連の予防保全</li> </ul>	H24~26年度実績： 緊急事態発生：0件	事故発生：0件	○	緊急事態発生：0件
	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集運搬作業関連の予防保全</li> </ul>	H24~26年度実績： 緊急事態発生：2件	事故発生：0件	○	緊急事態発生：0件
そ の 他 環 境 に 有 益 な 項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進</li> </ul>	H26年度実績： 1%増加 1,726,088kg	1,939,088kg	○ 113% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準値比2.0%増加 1,781,940kg</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員による有価物類の回収</li> </ul>	H25年度実績： ペットボトル：173.7kg ダンボール：1,260kg アルミ缶：107.3kg スチール缶：48.3kg 平均1%増加	平均：119%増加	○ 119% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準値比2.0%増加 達成率100% 以上</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電事業によるCO2の削減</li> </ul>	実績値集計のみ	557,489.7kg-CO2	-	実績値集計のみ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブレコーダー導入によるCOの削減</li> </ul>	ドライブレコーダー 導入運転記録 77点以上	83.9点	○ 109% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準値比0.5%UP 77.4点</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規アイテムのリサイクル業務</li> </ul>				

**TOP SECRET**

**TOP SECRET**

今期はCO2排出削減を意識し、活動しましたが、電力会社の算出係数が上がった事や、電力やガソリン消費量が、昨年度より上回ってしまった為、目標値を達成することができませんでした。今期末達の原因等を踏まえて、来期の目標を設定致します。

有益な項目につきましては、弊社業務の中で、日常的になっているものですので、今後も環境パフォーマンスの向上に努めていきたいと思っております。

## 5. 教育訓練

### 2015年度教育訓練計画（全社分）

主管：環境管理課

教育名	教育の内容	対象者	頻度	実施期間	主管部門・機関
1.一般教育Ⅰ・Ⅱ	・EMS概要、環境マネジメント活動全般（方針、目的目標、EMP等含む）	本社及び東北事業所の管理者・一般従業員 全員	1回	5～7月	環境管理課 推進リーダー
2.特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	・業務部関連手順書教育（省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5～7月	部門責任者
		・東北事業所関連手順書教育（省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5～7月	環境管理課 推進リーダー
3.専門教育	外部セミナーに参加し、スキルアップを図る	・今期内部監査リーダー	1回	7～9月	指定会場
4.内部監査員教育	・環境監査員養成講座（環境管理責任者主催コース）	・内部監査員候補者 1名	1回	9～10月	環境管理責任者
	・環境監査員ブラッシュアップ教育	・内部監査員新人メンバー（監査の前の訓練）	1回	10月	今年度の 内部監査リーダー
5.防災訓練・ 緊急事態対応 訓練	・わが社が特定している緊急事態 ・緊急事態発生時での対応及び処置 ・緊急事態の実際の訓練	・緊急事態が想定される業務に従事している従業員（本社および東北）	1回	9月	部門責任者
		・会社全体に関わる緊急事態（火災や大地震想定）：全従業員	1回	9月	環境管理課

当社では、毎年部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取組みへの理解や環境意識の向上をはかっております。



毎年1回、緊急事態対応訓練や、防災訓練を実施し、対応手順の確認や、テスト、備品類の整備を実施しております。

## 6. 廃棄物の再資源化取り組み事例

排出事業者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

### パワーコンディショナーの場合



素材毎に選別した状態



当社は、顧客情報や業務上知り得た情報について、機密性を重要視し、漏洩等がないよう、スタッフ一同、訓練を受け、認識し、セキュリティ義務を遵守しております。

また、排出事業者からのご要望がございましたら、リサイクル報告書、廃棄証明書、廃棄(解体)写真の提出、または搬入時に担当者の現場立会等により、適正処理状況を確認して頂いております。

リサイクル報告書

SAMPLE

## 7. 地球温暖化対策の取組み

当社では、「産業競争力強化法」（平成 26 年 1 月 20 日施行）に基づく  
「生産性向上設備」として認定された  
太陽光モジュール及びパワーコンディショナーを採用し、  
自社太陽光発電設備を  
建設しています。



「生産性向上設備」とは・・・？

商品の生産若しくは販売又は役務の提供の用に  
供する施設、設備、機器、装置又はプログラムで  
あって、事業の生産性の向上に特に資するものとして  
経済産業省令で定めるもの

(産業競争力強化法 2 条 13 項より抜粋)

産業競争力強化法の実施に際しての生産性向上設備等  
のうち先端設備に係る仕様等証明書



弊社低圧第一発電所



弊社低圧第四発電所

## 8. 地域社会への取り組み（クリーン活動）

本社及び東北事業所の工場周辺を当社の従業員が、一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



本社工場付近クリーン活動の様子



東北事業所付近クリーン活動の様子



## 9. その他の環境活動

太陽光発電施設設置エリアを伐採する際に発生する枝葉や根などの木屑を破碎し、チップ化する自走式木材破碎機を導入しました。

木屑が発生する現場でチップ化する事が可能となり、チップ材・敷料としてリサイクルし、防草対策に活かす事が可能となりました。



## 今後の取組み予定

弊社の取組み予定と致しまして、低圧第二発電所の建設を予定しております。

また、風力発電事業への着手も見込んでおり、今後ますます新エネルギーの普及へ積極的に取り組んで参りたいと思います。

## 最後に

那須マテリアル株式会社は、事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確保に今後とも努めて参ります。

2016年 5月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

星 彰治